

様式第9 (第2条関係)

自家用発電所運転半期報

発電所を設置している者を記載してください。

発電所の所在地を記載してください。

上  
年度 期分  
下

事業者名

住所

発電所名

連絡先担当者氏名

電話番号

電子メールアドレス

本件の内容について、確実に連絡のとれる者を記載してください。

原動力の種類 **太陽光**

[ ]

(燃料の種類

)

月別	最大出力 (kW)	変更出力 (kW)	発電電力量 (C) (kWh)	所内及び損失電力量 (B) (kWh)	電気事業者等への送電電力量 (kWh)				自家消費電力量 (kWh)	
					電気事業者 (A)	特定供給の相手方	その他事業者	合計		
4月	1,000		140,000	1,000	139,000			139,000	< >	0
5月	1,000		175,000	1,300	173,700			173,700	< >	0
6月	1,000		160,000	1,400	158,600			158,600	< >	0
7月	1,000		150,000	1,250	148,750			148,750	< >	0
8月	1,000		160,000	1,400	158,600			158,600	< >	0
9月	1,000		160,000	1,400	158,600			158,600	< >	0
計			945,000	7,750	937,250			937,250	< >	0
10月	太陽光パネルとパワーコンディショナー(PCS)のいずれか小さい出力				0				< >	
11月									< >	
12月									< >	
1月									< >	
2月									< >	
3月									< >	
計									< >	
合計									< >	

旧一般電気事業者や小売電気事業者への送電(売電)量の合計を記載してください。

電気事業者への送電量(A)+所内使用量等(B)の合計を記載してください。所内使用量等(B)を計測していない場合、(C)=(A)としてください。

発電所運転に必要な電灯及び空調に使用する電力量を記載してください。測定していない場合、空欄としてください。

当該期内に出力の変更(新增設、廃止等)があった場合、「変更出力」欄に記載するとともに、出力変更要因及び年月日を記載してください。

- 備考
- 燃料の種類欄には、火力発電に用いた燃料の種類を記載すること。
  - 当該自家用電気工作物がコージェネレーション(ガスタービン等を原動力として発電し、当該発電に伴って発生する排熱を回収してこれを熱源として利用するシステムをいう。)である場合は、原動力の種類欄の[ ]内にコージェネと記載すること。
  - 出力の変更等があった場合は、変更出力の欄に前月からの増減出力を記入するとともに、出力変更の要因の欄に新設、増設、廃止等を明記すること。
  - 発電電力量欄の上段の[ ]内には、火力のうちバイオマスに係る電力量を再掲し、下段の[ ]内には、火力発電のうち廃棄物に係る電力量を再掲すること。
  - < >内には、電気事業法第97条第1項の規定に基づき指定された卸電力取引所を通じた取引により送電した電力量を再掲すること。
  - 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。